

●総合型選抜 サンプル問題

大問構成（案）

大問 (設問数)	ジャンル（テーマ）	設問内容
第一問 (5題)	漢字・四字熟語	日常、社会生活で使用頻度の高い実用的な漢字の読み書きを出題。難語は出題せず、常識的な範囲の常用漢字のみに限る。
第二問 (5題)	慣用句・故事成語 国語常識	社会生活でよく使用される常識的な慣用句や故事成語の他、文学史や敬語などの「国語常識」を文章形式で出題する。
第三問 (5題)	文章表現 言語操作能力	言い換え、接続詞、比喩など、文法・語法知識を含めた言語操作能力・文章表現力・コミュニケーション能力などを問う。
第四問 (5題)	読解・解釈 リテラシー	論理的な読解・解釈・思考をさまざまな角度から問う。一部、資料の読み取り（思考・判断）など共通テストを意識。

第一問 次の(二)～(五)の例文中の傍線部Aの漢字と傍線部Bのカタカナについて、該当する読みと漢字を正しく組

み合わせたものを、それぞれのア～カから一つ選びなさい。

(二) いくら身を^A粉_コにして働いても、給料が上がらなければ^Bセイ_成計を立てるのは厳しい。

ア	A コ	B 成
イ	A こ	B 生
ウ	A こ	B 整
エ	A こな	B 成
オ	A こな	B 生
カ	A こな	B 整

第二問 次の(一)～(三)の例文の空欄に入れるのに最も適切な慣用句や故事成語などを、それぞれのア～エから一つ選

びなさい。(四)と(五)は各設問の指示に従って解答しなさい。

(一) 彼はああ見えてずる賢いところがあるから、うっかり彼の() ()とあとで後悔するよ。

ア げんを担ぐ

イ 片棒を担ぐ

ウ 足を棒にする

エ 二の足を踏む

●第二問の出題構成案

(一)～(三)は社会生活でよく使われる慣用句や故事成語、(四)と(五)は高校卒業レベルまでの国語常識や社会常識(古典を含む有名な文学作品／季語／敬語／手紙やメール文の常套句など)を出題予定。

第四問 次の(二)～(五)の各問いに答えなさい。

(一) 次の文の傍線部をわかりやすく言い換えるとどうなるか。あとのア～エから最も適切なものを一つ選びなさい。

この町の人口は不可逆的に遞減している。

- ア 増えることはなく、徐々に減り続ける一方である
- イ 増えたり減ったりを繰り返しながら、少しずつ減り続けている
- ウ 増える可能性が一切なく、急激に減り続けている
- エ 流出と流入の逆転現象により、飛躍的に減少している

(二) は次ページに掲載。

(二) 次の文章は、文星芸術大学のホームページ上に掲載されているメッセージの一節である。趣旨や文脈から考えて、空欄に当てはまる文として最も適切なものを、あとのア～オから一つ選びなさい。

企業人事担当の方へ

文星芸術大学の教育は、表現や造形の実践的な能力の育成を中心としながらも、領域との交流や、そこから生まれる創造に力を入れて人材育成を図っております。

……(中略)……

それぞれの専門領域の基本的な能力を必要とする職場はもとより、社会のあらゆる面に芸術化の傾向が広がっている昨今、企業における広報宣伝や情報提供、生活・社会環境の美的な構成などの幅広い業務に適しているのではないかと考えております。

、他

- ア 狭い専門領域の業務遂行能力を培い
- イ 狭い専門領域に専念させることにより
- ウ 狭い専門領域に閉じこもることなく
- エ 狭い専門領域の基本的な能力を養い
- オ 狭い専門領域での美的感性を育むより

●総合型選抜入試サンプル問題の解答

大問	問題番号	正解	出題の狙い
第一問	(一)	イ	読み間違いやすい、とっさに浮かびにくい基本的な漢字知識。
第二問	(二)	イ	よく使う慣用句を例文の読解形式によって選択させる。
第三問	(一)	エ	日本語の基本的な文法知識を身につけているかどうか。
	(二)	オ	文と文の関係（繋がり）を正しく把握できるかどうか。
第四問	(一)	ア	抽象的な文章を正確に解釈できるかどうか。
	(二)	ウ	趣旨を把握し、文脈の整合性を正しく判断できるかどうか。